

広島 MEP Monitoring Conference

テーマ

Desfluraneと術中MEP Monitoring

【座長】

広島大学大学院医系科学研究科

麻酔蘇生学 教授 堤 保夫 先生

【演者】

獨協医科大学医学部

麻酔科学講座 主任教授 濱口 眞輔 先生

日時

2022年9月3日(土) 13:00~14:00

ご視聴には参加登録が必要となります。
下記URL又はQRコードより参加登録をお願い申し上げます。
ご視聴ページは講演10分前よりアクセスいただく事が出来ます。

登録リンク

https://baxter.zoom.us/webinar/register/WN_tUuUyU8tRx6Ec_ChP112kg

主催: バクスター株式会社



プログラム**13:00 opening remarks**

広島大学麻酔蘇生学 教授 堤 保夫 先生

13:05 <<特別講演>>**『Desflurane麻酔とMEPモニタリングの実際』**

獨協医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授 濱口眞輔 先生

13:55 Q&A session**14:00 closing**

獨協医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授

濱口眞輔 先生

略歴

2004～2008年 獨協医科大学 麻酔科学講座 准教授

2008～2012年 獨協医科大学病院手術部副部長(兼務)

2012年 獨協医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授

専門分野/研究

1. 麻酔科学:臨床麻酔(心臓麻酔, 肺外科麻酔, 神経麻酔) / 術中不整脈の臨床研究
2. ペインクリニック:神経ブロック, 薬物療法, 脊髄刺激療法 / 間脳と痛みに関する基礎研究
3. 東洋医学:漢方薬による痛みの治療

運動誘発電位(motor-evoked potential:MEP)モニタリングは、脳外科・脊椎脊髄外科領域の手術時の術中運動神経機能を評価する方法として広く行われている。

本邦では、MEPモニタリングを要する麻酔時には静脈麻酔(TIVA)を第一選択とすることが通念となっているが、MEPモニタリングが必須の手術において、TIVAでは麻酔管理に難渋する症例に遭遇することもみられる。その際、デスフルランによる麻酔に切り替えることで、麻酔管理とMEPモニタリングをなし得た報告も数多く存在する。

この観点から、本講演ではMEPモニタリングの問題点である麻酔薬の影響、体温低下、血圧低下の影響などに関する知見を紹介し、上述の通念の妥当性も再検討したいと考えている。また、整形外科医の臨床経験も踏まえたMEPモニタリング症例も紹介させて頂く予定である。

デスフルラン麻酔下でのMEPモニタリングのニーズの高まりを受けた本企画に是非ともご参加を願いたい。